

丹波高原に生まれ 人の交流・連携で築く めくもりと躍動のあるまち

# 広報 京丹波



KYOTAMBA TOWN

## 初代京丹波町長が初登庁

京丹波町長選挙(11月20日執行)で当選した松原茂樹・京丹波町長が、11月24日、京丹波町役場へ初登庁。町民や議員、職員らが拍手で出迎えました。

## [特集]

松原町長にまちづくりインタビュー

# 京丹波町の まちづくり方針を聞く



## CONTENTS

- 特集・松原町長にまちづくりインタビュー .....2~5
- 初代町長・新議員18人決まる .....6・7
- 2005京都丹波高原ロードレース .....8・9
- フラッシュ TOWN NEWS 2005.....10・11
- 編集後記.....12

松原町長にまちづくりインタビュー

# 京丹波町のまちづくり方針を聞く

11月20日執行の京丹波町長選挙で当選し、  
町政を担うことになった松原茂樹町長。  
京丹波町の初代町長に、  
今後のまちづくり方針などをインタビューしました。



町域の均衡ある発展と  
特色あるまちづくり。  
「住民参加」による  
躍動する  
京丹波町の創造を

—当選おめでとうございます。  
町長就任にあたり、その決意をお聞かせ  
ください。

**町長** 今回行われました選挙は、合併後の  
まちづくりの道筋を問う、たいへん厳しい  
選挙でしたが、ご支持を賜りました多くの  
皆さまの全面的な応援をいただきまして、  
当選できましたことに、厚くお礼と感謝を  
申し上げます。

たいへん厳しい時代への船出となります  
が、常に新たな展開と改革を求めて、町民の  
皆さまの福祉の向上と、京丹波町の飛躍の  
ために全力でまい進してまいる覚悟であり  
ます。

議員各位をはじめとして、町民の皆さま  
の格別のご指導とご支援、ご協力を賜りま  
すようお願いいたします。

—京丹波町のまちづくりについて、  
その基本姿勢をお聞かせください。

**町長** 合併の理念であります「財政難の  
克服」、「自治の能力の向上」、「総合的な行政  
力の展開」を大切にしながら、町域の均衡あ  
る発展と特色あるまちづくり、そして、「住

民参加」による躍動する京丹波町の創造を  
目指してまいります。

「対話」と「情報開示」  
で行政と住民との  
協働関係の構築を  
めざす

—「住民参加」による躍動する京丹波町の創  
造について、その具体策をお聞かせくだ  
さい。

**町長** 現在の行政区のほかに、地域振興会  
などの住民自治組織をつくり、町民自らが  
地域の問題を考え、具体的な要望を町に提  
示できるようなしくみを構築していきたい  
と考えています。

また、地域間格差を感じることなく、町域  
のすみやかな一体化を図るため、住民自治  
組織の活動を支援する助成金制度につい  
ても設置していきたいと考えています。

併せて、町内の若者や事業者などが幅広  
く参加できる「まちづくり委員会」のような  
組織を設け、町政に対して自由に意見を述  
べてもらう場をつくりたいと考えています。

いずれにしても、町民の皆さまとの  
「対話」を大切にするとともに、情報を積極  
的に開示し、行政と町民の皆さまのよりよ  
い信頼関係、協働関係に基づき、「住民参加  
のまちづくり」を進めていきたいと考えて  
います。

―公約に掲げられた五つの基本政策についてお聞かせください。

**町長** 一つめに、人権を尊重し、保健・福祉・医療の充実、防災など安心・安全なまちづくりを目指します。

二つめに、農林、商工業の振興、丹波ブランドの確立を図ります。

三つめに、上下水道などの一層の整備促進と環境保全に努めます。

四つめに、情報・道路・交通ネットワークの構築に取り組みます。

五つめに、教育の振興、子育て支援など若者定住対策を推進します。

## バス路線の再編と情報基盤の一元化が早急な課題

―合併協議の中でもさまざまな議論がなされ、町民の皆さんも不安を感じている「生活の足の確保」について、新しいバス路線の構築をどのように推進されますか。

**町長** バス路線の再編については、早急に取り組まなければならない課題であると認識しており、運行形態を含めて町民の皆さまにとりよりよいバス事業のあり方を検討し、全町での新たなバス路線のすみやかな構築に努めていきます。

効果的・効率的な運行システムとして、予約制システムや小型バス運行、旧和知町で導入し

ているお年寄り対象の運賃半額券(寿券)など、さまざまなシステムやきめ細かなサービスを導入し、バスの乗車促進も図っていききたいと考えています。



町営バス(和知駅)

―旧三町でそれぞれ異なる情報基盤の一元化について、その考えをお聞かせください。

**町長** 旧丹波町では有線ファックス、旧瑞穂町ではケーブルテレビ、旧和知町では防災行政無線と、旧三町間で行政から町民への情報手段がまちまちであるため、旧町間での情報格差が生まれないよう、情報基盤の均一化も早期に取り組まなければならないと考えています。

それぞれ異なっている情報基盤は、ケーブルテレビによる一元化を進めていきたいと考えています。

―京丹波町の高齢化率は三〇パーセントを超えます。少子・高齢化対策についての考えは。

学校教育や、人権を大切に、郷土を愛する社会教育を推進します。

特に学校、社会教育を通じて、郷土の現実を学びつつ、自立できる自治意識の向上に結び付けていきたいと考えています。

須知高校を地域の人材を育む学校として位置づけ、通学の支援など活性化を図っていききたいと考えています。

## 新町まちづくり計画の実現へ、事務事業、住民サービスを総点検し、効率的な行財政運営を

―厳しい財政状況が続く中、今後、行財政改革をどのように推進されますか。

**町長** 行政内部を総点検し、旧三町から継続している事務事業や住民サービスの中で、町民の

**町長** 保健・福祉・医療の相互連携により、各サービスが一体的かつ効率的に提供できる体系を確立するとともに、相互扶助やボランティアなど町民の皆さまの福祉活動の推進に努め、子どもから高齢者まですべての人が、いきいきと暮らせる施策を展開します。

高齢化対策では、配食サービス事業など高齢者福祉事業の充実を図り、生涯にわたり健康で安心して暮らせるよう温泉保養施設を整備し、活用していきたいと考えています。

少子化対策では、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりのため、延長保育や学童保育、医療費助成など子育て支援策を推進していきます。合わせて、京都中央テクノパークを軸に企業誘致による就労の場の確保に努め、若者定住対策を積極的に進めていきたいと考えています。

皆さまが本当に求めているサービスを提供していけるよう努めていきます。

その際、情報を開示して、厳しい町の財政の現状を説明し、理解を求めたうえで、真に必要なものを予算で重点配分し、むだのない行財政運営を図っていききたいと考えています。

また、府政との連携をさらに強め、行財政の効率化を進めていきます。

―最後に、京丹波町のまちづくりを進めるにあたり、町民の皆さんにお願いしたいことはありますか。

**町長** 旧三町の基本路線を大切にしながら、京丹波町の未来図である「新町まちづくり計画」に定める将来像「丹波高原に包まれ 人の交流・連携で築く、ぬくもりと躍動のあるまち」の実現を目指して、全力を尽くしてまいりたいと存じますので、町民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

―教育振興策について、お聞かせください。

**町長** 自ら考え、自ら学び力や心身共に豊かな人間の形成と生涯にわたる学習の基礎を培う

また、新町のまちづくりに企業参画の促進が図られるよう環境を整えていきたいと考えています。

**町長** 耕畜連携した循環型農業による米、黒豆、小豆、京の伝統野菜、食肉などの生産振興に取り組み、「丹波ブランド」のさらなる確立に努め、安心・安全な食の供給基地としての産地づくりを目指します。

―産業振興策については。

キノコ類、山菜など豊富な森林資源を生かした食品加工や地域に根付いている製造業の振興地域に密着した商店街育成にも力を入れていきたいと考えています。

また、新町のまちづくりに企業参画の促進が図られるよう環境を整えていきたいと考えています。



学童保育「のびのび児童クラブ」(旧須知小)



ケーブルテレビの番組収録の様子(瑞穂情報センター)

# 初代町長。 十八人の新議員決まる。



町長選・町議選の開票(町中央公民館)

合併に伴う京丹波町長選挙・議会議員一般選挙は十一月十五日に告示。町長選には、寺尾豊爾氏(和田)と松原茂樹氏(下山)の二人が立候補。町議選には、定数十八に対して二十四人が立候補しました。十一月二十日、投・開票が行われ、初代京丹波町長に松原氏が当選。新議員十八人が決まりました。

投票は、町内三十八カ所の投票所で午前七時から一斉に始まり、午後八時に終了。当日の有権者数は一四、五五六人(男性六、八九四人、女性七、六六一人)。投票者数は、町長選が一、七九四人、町議選が一、七九三人。投票率は、町長選が八一・〇三%、町議選が八一・〇二%でした。当日の有権者数一四、五五六人のうち、期日前投票者数は一、六九七人(全体の一一・六六%)でした。開票は午後九時一〇分から町中央公民館で始まり、大勢の参観人が見守る中、二十一日午前〇時四五分に終了しました。



投票所の様子(第20投票所・上大久保公民館)

## 新議員の顔ぶれ

(50音順・敬称略)



片山 孝良  
無所属  
(広野)



小田 耕治  
無所属  
(本庄)



岡本 勇  
無所属  
(大朴)



今西 孝司  
無所属  
(下山)



野間 和幸  
無所属  
(升谷)



野口 久之  
無所属  
(曾根)



西山 和樹  
無所属  
(水原)



篠塚 信太郎  
公明党  
(実勢)



坂本 美智代  
日本共産党  
(質美)



藤田 正夫  
無所属  
(上乙見)



東 まさ子  
日本共産党  
(高岡)



畠中 勉  
無所属  
(下大久保)



山田 均  
日本共産党  
(保井谷)



山内 武夫  
無所属  
(妙案寺)



室田 隆一郎  
無所属  
(中台)



吉田 忍  
無所属  
(蒲生)



横山 勲  
無所属  
(口八田)



山西 桂  
無所属  
(下山)

### ◇町長選挙結果(敬称略)

当選	松原 茂樹	6,480 票
	寺尾 豊爾	4,856
	(無効 458)	

### ◇町議会議員一般選挙結果(敬称略)

当選	篠塚 信太郎	1,398 票
当選	野口 久之	920
当選	東 まさ子	708
当選	山田 均	695
当選	吉田 忍	608
当選	小田 耕治	601
当選	横山 勲	580
当選	野間 和幸	557
当選	藤田 正夫	546
当選	畠中 勉	521
当選	片山 孝良	513
当選	山内 武夫	445
当選	西山 和樹	404
当選	坂本 美智代	387
当選	今西 孝司	373
当選	室田 隆一郎	362
当選	山西 桂	359
当選	岡本 勇	357
	荒牧 敦子	335
	太田 明平	300
	三好 久男	278
	上西 建夫	182
	沢井 安子	126
	上田 實	23
	(無効 215)	

# 38000人が快走 色づく秋の丹波路を



秋の丹波路へスタートするランナーたち(30kmスタート地点)

十一月三日(文化の日)、二〇〇五京都丹波高原ロードレース(主催/京丹波町・京都陸上競技協会・京都新聞社・京都府公園公社)が開催されました。丹波町・瑞穂町・和知町が合併し、十月十一日に誕生した京丹波町の発足記念大会となった今回は、全国各地から約三千八百人のランナーが参加。沿道の力強い声援を受けながら、秋深まる丹波高原を駆け抜けました。

本大会は今年で二十四回目の開催。大会の成功に向けて、主催者らで構成する大会実行委員会(中野昭・実行委員長)では、四月から事務局を設置し、本格的な取り組みをスタート。八月一日から九月中旬まで参加者の募集を行い、十月に入ると、日刻みのスケジュールでプログラムの作製や看板準備、関係機関との連絡調整など諸準備を進めてきました。

大会を成功に導いてくれた一番の大きな力。それは、総勢約九百人のスタッフ。大会当日には、区長会、婦人会、体育協会、交通安全協会、交通指導員会、船井医師会、京都アマチュア無線振興会、船井青年会議所、明治鍼灸大学、丹波自然運動公園協力会、丹波町国際交流協会、丹波波高等学校体育連盟、一般ボランティアなど、多くの住民がスタッフとして大会を支えました。

## ここにも、大会を支える町民の力が

大会前に会場周辺を清掃する「丹波クリーン作戦」が、十月二十三日に行われ、町内の子どもからお年寄りまで約三百人が参加しました。

この日は朝からあいにくの雨模様になりましたが、参加した町民は、全国から来るランナーに気持ちよく走ってもらおうと、会場である丹波自然運動公園の周辺や、コース沿道、国道九号の歩道の草引きやごみ拾いに汗を流しました。お世話になった皆さん、ありがとうございました。



丹波クリーン作戦。歩道の清掃に汗を流す参加者(丹波・蒲生)

## 蒲生野中3年・今西望さんが、さわやかに選手宣誓

今年の選手宣誓を行ったのは、蒲生野中3年・今西望さん。「この丹波の地で日ごろの練習の成果を出し切り、楽しく走ります」と、さわやかに宣誓。このあと今西さんは、今大会から中・高生を対象に新設した5kmレースに出場し、力走しました。



## 開会式

開会のあいさつを述べる黒田一夫・大会会長



## 招待選手

### 大南敬美選手(トヨタ車体)

世界陸上選手権大会のマラソンに2001年、2003年と連続出場した大南敬美選手を迎え、大会は大いに盛り上がりました。大南選手は、3kmファミリーの部に出場。沿道に詰め掛けたファンからの声援に笑顔でこたえたりして、和やかに走っていました。大南選手の今後の活躍を期待しています。



## 大会を支えたスタッフ

選手の荷物管理をお世話になった区長会の皆さん。手際よく受付をして選手をレースに送り出す、まさに縁の下の力持ち。今年も多くのランナーが荷物を預け、安心してレースに臨みました。

ランナー弁当係をお世話になった婦人会の皆さん。「がんばって」と声をかけ、お弁当を手渡す皆さんの笑顔は、レース前の選手のリラックスに一役。



## 当たりました。ホノルルマラソン

レース後は恒例のお楽しみ抽選会。目玉賞品のホノルルマラソン招待券を手にしたのは大阪府四條畷市の池田亜矢さん。ホノルルマラソンでの力走を期待しています。

## 特産物コーナーも大にぎわい

会場周辺では、丹波公園まつり(主催=丹波自然運動公園協力会など)が行われ、特産物などを販売する店がずらり。走り終わったランナーたちは、丹波の秋の味覚に舌鼓を打っていました。



## ウォーキングで 交流深める

ウォーキングを通じて健康づくりと町民の交流を深める「ウォーキング交流会」が十一月十八日、瑞穂地区内で行われ、町民約三十人が参加。さわやかな秋空のもと、グリーンランドみずほを発着点に、瑞穂支所や松山商店街を巡るコースを歩き、色づく秋の景観を楽しみながら交流を深めました。また、十二月一日には丹波地区の琴



秋の景観を楽しみながら交流を深める参加者（瑞穂・中台地内）

滝を巡るコースで、十二月七日には和知地区の由良川周辺を巡るコースでも同交流会が行われました。

### 瑞穂松山周辺 コース参加者の声

吉田春さん（和知・細谷）  
「普段から歩くのが好きで、参加しました。これまででは他の町だった地域を知る、良い機会になりました」

朝倉貢さん（瑞穂・井脇）  
「いつもは車で走っている道も、たまに歩くのは良いですね。丹波・和知の人とも話ができて、楽しく交流できました」

吉田つや子さん（丹波・蒲生）  
「友だちと共に参加しました。瑞穂病院など新しくなった施設を見ることができて良かったです。健康づくりの良い機会になりました」

## この秋、ホッケー少女たちが 大活躍

京都すばる高（京都市伏見区）に通う徳島葵さん（丹波・新水戸出身）と阪内伶美さん（瑞穂・八田出身）が、十月に岡山県で行われた「晴れの国おかやま国体」ホッケー競技少年女子の部に京都代表として出場。激戦を勝ち抜き、優勝の栄誉に輝きました。

「日本一を目指してきたので、目標が達成できてうれしい」と話す徳島さん。阪内さんは「夢がかないました。チームワークで勝ち取った優勝です」と話していました。



岡山国体で京都代表として出場し優勝した徳島さん（右）と阪内さん（左）



オーストラリア遠征前、黒田町長職務執行者から激励を受ける伴田さん=写真中央=（役場町長室）

相手陣内へ攻め込む竹野女子ホッケースポーツ少年団（滋賀県米原市・伊吹運動場）



小学生女子の部で、竹野女子ホッケースポーツ少年団が優勝。同部は昨年の同大会でも優勝しており、二年連続の快挙。

瑞穂中・三年の伴田久美さん（瑞穂・上大久保）はこのほど、ホッケーのジュニアユース日本代表に選ばれ、十一月三十日、オーストラリア遠征へ出発。出発前には黒田一夫・京丹波町長職務執行者（当時）のもとを訪れ、意気込みを話していました。同中女子ホッケー部は、八月に埼玉県で行われた全日本中学生ホッケー選手権大会で全国八位に。主将としてチームをけん引し、攻守両面で活躍した伴田さんは、十月の選考会で日本代表に選出。同中からは初の代表入りです。

## 体育協会が発足

十一月九日、町中央公民館で京丹波町体育協会設立総会が開かれ、上田秀男・府議会議員ら来賓や町民など約三十人が出席し、設立を喜び合いました。

総会では、始めに同体育協会設立準備委員長を務めた青木勝弘さん（丹波・須知、町グラウンドゴルフ協会長）が、同協会設立までの経過を報告。その後、規約や協会旗の承認、役員を選出、今年度の事業計画・予算案の審議などがありました。

同協会の設立にあたっては、今年八月に、旧三町の体育協会加盟団体の代表ら



会長に就任した中野昭さん

が設立準備委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。

現在の加盟団体は、ゲートボール協会やバレーボール連盟、ホッケー協会、スポーツ少年団など計十団体。総会で選出された役員は次のとおり。

（敬称略）  
会長／中野昭（丹波・豊田）  
副会長／上田雅信（瑞穂・妙楽寺）  
石原哲夫（和知・広瀬）

## 代表区長会を開催

町の行政区八十五区の区長の代表で構成する「代表区長会」が十一月十一日、役場議場で開かれ、初代会長に吉田昭さん（和知・本庄区長、和知地区区長会長）が、副会長に新勉さん（丹波・上野区長、丹波地区区長会長）と山田均さん（瑞穂・保井谷区長、瑞穂地区区長会長）が選ばれました。

この日の会合では、規約の承認や、今

後の会の運営について意見が交わされたほか、平成十八年度以降の会長は、瑞穂、丹波、和知の各地区順に選んでいくことが確認されました。

区長会は、丹波地区二十六、瑞穂地区三十二、和知地区二十七の各行政区の区長で組織。代表区長会は、丹波地区十、瑞穂地区八、和知地区七の計二十五人の代表区長で構成しています。

## ふるさとの秋を満喫 わち大好き祭り

十一月二十六日、わち山野草の森などを会場として「わち大好き祭り 二〇〇五」（わち大好き祭り実行委員会主催）が開催されました。

この祭りは、子どもからお年寄りまで多くの町民が集い、語り合い、楽しむ「ふれあいの場」として、旧和知町で毎年この時期に開かれていた祭りで、合併後の初開催となった今年の祭りでは、フリーマーケットや農林産物の品評会・展示即売、健康づくりコーナーなどさまざまな催



さまざまな催しでにぎわった「わち大好き祭り」（わち産野草の森）

しが行われました。訪れた人びとは、和知の味覚に舌鼓を打ったり、久しぶりに出会った友人との会話を楽しんだりして、ふるさとの秋の風情を満喫していました。

## 黒田町長職務執行者が退任



退任のあいさつを述べる黒田町長職務執行者

黒田一夫・京丹波町長職務執行者（前瑞穂町長）が、新町長が決まった十一月二十日をもって退任。十八日には退任式を行いました。式では、黒田町長職務執行者が「合併という歴史的な仕事ができ見送りました。

【おまけ】前号（十一月十五日発行・創刊号）の十二ページの職員紹介の欄で、地域医療課の和知診療所の「事務 木上茂登恵（同）」は、「看護 木上茂登恵（主任）」の誤りでした。お詫びして訂正します。

読者の皆さんが  
情報発信するコーナー

# 地域の伝言板 わくわくBOX

はじめます。

このコーナーは、皆さん自身が、さまざまな情報を発信し、ほかの読者の皆さんと情報を共有するコーナーです。たとえば「身近に起こった出来事」や「感動したこと」、「みんなに教えてあげたい・わたしの健康術」、「こんなサークル活動始めました」、「まちづくりについての意見」、「広報紙への感想」、「イラスト・絵画・写真」、「エッセイ・詩・俳句、川柳」など、読者の皆さんの身近な情報発信として、この伝言板をご利用ください。

はがきに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、情報をお寄せください。匿名希望やイニシャルの場合は、氏名を記入したうえで、その旨を明記ください。（お寄せいただいたイラスト・絵画・写真は返却します。）

新年号掲載分の締切りは12月26日（月）です。ファックス、Eメールでも情報をお待ちしています。

## 送り先

〒622-0292（住所不要）

京丹波町企画情報課広報京丹波「わくわくBOX」係  
ファックス／82-2500

Eメール／kikaku30@town.kyotamba.kyoto.jp

## わたしたちの町

人口	17,920(-19)
男	8,515(-11)
女	9,405(- 8)
世帯数	6,489(- 5)

12月1日現在／( )は前月比

## 編集後記

早いもので、もう師走、今年も残すところわずかとなりました。いつもより短く感じた今年の一年。合併協議に、半世紀の歴史を刻んだ町の閉町、そして京丹波町の発足と、まさに歴史的な年でした。来年は、多くの皆さんに広報京丹波に登場してもらおうと考えていますのでご協力ください。皆さん、良いお年を。

(Y)

発行／京丹波町

〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生ハツ谷62番地6

電話(0771)82-0200(代表) 企画・編集／企画情報課

[ホームページアドレス] <http://www.town.kyotamba.kyoto.jp>

[電子メール] [kikaku30@town.kyotamba.kyoto.jp](mailto:kikaku30@town.kyotamba.kyoto.jp)